



バレーボール支柱のSG基準（公開用）

一般財団法人 製品安全協会

体育施設用器具専門部会専門委員名簿

(委員は 50 音順)

	氏 名	所 属
(部会長)	小 林 肇	元 独立行政法人産業技術総合研究所
(委 員)	大 江 俊 英	公益財団法人日本体育施設協会施設用器具部会
	大 口 達 郎	一般財団法人ボーケン品質評価機構
	小 川 隆	株式会社小川長春館
	柊 平 洋 夫	テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社
	窪 政 司	株式会社都村製作所
	今 野 由 夫	公益財団法人日本体育施設協会
	重 森 仁	日本スポーツ用品協同組合連合会
	柴 田 和 弥	セノー株式会社
	須 藤 実 和	慶應義塾大学大学院
	高 橋 直	株式会社エバニュー
	灰 西 克 博	公益財団法人日本バレーボール協会
	舟 岡 修 慈	株式会社舟岡製作所
	松 浦 正 史	東洋殖産株式会社
	三 上 貴 正	東京工業大学
	宮 地 弘 孝	一般社団法人日本スポーツ用品工業協会
	山 本 雅 一	一般財団法人日本文化用品安全試験所
	渡 邊 豊	東京海洋大学大学院
(関係者)	経済産業省商務情報政策局日用品室 経済産業省商務流通保安グループ製品安全課	
(事務局)	一般財団法人製品安全協会	

バレーボール支柱のSG基準

SG Standard for Volleyball Equipment

1 基準の目的

この基準は、バレーボール支柱の安全性品質及び使用者が誤った使用をしないための必要事項について定め、一般消費者の生命又は身体に対する被害の発生の防止を図ることを目的とする。

2 適用範囲

この基準は、体育運動に使用する抜差式のバレーボール支柱（ネット巻き、またはネットにテンションをかけられるものも含む。以下「バレー支柱」という。）について適用する。

3 安全性品質

バレー支柱の安全性品質は、次のとおりとする。

項 目	基 準	
1. 外観、構造及び寸法	1. バレー支柱の外観、構造及び寸法は、次のとおりとする。 (1) 仕上げは良好で、手指等が触れる部分には傷害を与えるようなばり、とがり等がないこと。 (2) 外部に現れるボルト・ナット、高さ調節用ピン等の先端は、著しく突出していないこと。 (3) 表面にめっき、塗装等が施されているものにあっては、素地の露出、はがれ、さび等がないこと。 (4) バレー支柱は、次の部分から構成されていること。 (a) 支柱 { 中支柱 外支柱 (b) ネット巻き、またはネットにテンションをかけられるもの。(以下、ネット巻き等という。) (c) ネットフック (5) 外支柱底部には、使用者の足及び床保護並びに支柱の安定のため、容易に外れない保護端具等が取り付けられていること。 (6) 高さ調節用ハンドルによって支柱の高さを調節するものにあっては、容易に調節ができ、かつ、ネットを張った状態において中支柱が落下しないこと。 (7) ピン等の抜き差しによって支柱の高さを調節するものにあっては、直径が0mm 以上の鋼製ピンを使用し、かつ、離脱防止が施されていること。	

項 目	基 準	
	なお、ピン等に関して、○mmの鋼製ピンと同等以上の曲げ強度、せん断強度があれば材質にはこだわらない。 (8) ネット巻き等は、容易に作動でき、支柱に確実に固定できる構造であること。 (9) ネット巻き等は、ネットを張り終えたとき及び緩め始めたときに、ハンドルから手を離してもドラム等が逆方向に戻らない構造であること。 (10) ネット巻き等のハンドルは、握り部分が握りやすい形状で容易に操作でき、かつ、ネットを張るために必要な力を加えても、破損、外れ及び使用上支障のある変形がないこと。 (11) ネット巻き等のものにあってはロープ掛け具は、ネットロープが掛けやすく、かつ、確実に保持できる構造であること。 (12) ネットフックは、ネットロープが掛けやすく、かつ、確実に保持できる構造であること。	

2. 強度	2. バレー支柱の強度は次のとおりとする。 (1) 支柱にONの力を加えたとき、オフセット変位量は、表1に適合していること。また、力を除去した後、各部に破損、外れ及び使用上支障のある変形がないこと。 表 1 (単位：mm) <table border="1" data-bbox="349 629 842 1034"> <tr> <th>区 分</th><th>たわみ量 (参考値)</th><th>オフセット変位量</th></tr> <tr> <td>鋼 製</td><td>○以下</td><td>○以下</td></tr> <tr> <td>アルミニウム 合金製</td><td>○以下</td><td>○以下</td></tr> <tr> <td>繊維強化プラスチック製</td><td>○以下</td><td>○以下</td></tr> </table> (2) ネット巻き等及びネットフックの取付強度(保持性能) ネット巻き等及びネットフックにあつては、垂直方向上向きにONの力を加えたときに破損・変形・移動・離脱等しないこと。 また、ネット巻き等は、取付部が使用に伴い緩んだ場合にあつても上方に移動しない構造を有すること。	区 分	たわみ量 (参考値)	オフセット変位量	鋼 製	○以下	○以下	アルミニウム 合金製	○以下	○以下	繊維強化プラスチック製	○以下	○以下	
区 分	たわみ量 (参考値)	オフセット変位量												
鋼 製	○以下	○以下												
アルミニウム 合金製	○以下	○以下												
繊維強化プラスチック製	○以下	○以下												

3. 材 料	3. バレー支柱の材料は次のとおりとする。 バレー支柱を構成している金属材料で接触腐食が起こるおそれのあるところ及びさびの出るおそれのあるところには、防せい処理が施されていること。なお、ネット巻き等で直接ネットロープが接する部分に関しては除く。	
--------	--	--

4 表示及び取扱説明書

バレー支柱の表示及び取扱説明書は、次のとおりとする。

項 目	基 準	
1. 表 示	1. 製品には、見やすい箇所に容易に消えない方法で、次の事項を表示すること。 (1) 申請者（製造業者、輸入業者等）の名称又はその略号 (2) 製造年月若しくは輸入年月又はその略号 (3) 注意事項として次の旨の表示を行うこと。なお絵表示もあることが望ましい。 ・ネットの張りすぎに注意すること。 ・定期的な点検を行うこと。	
2. 取扱説明書	2. 製品には次に示す趣旨の取扱上の注意事項を明示した取扱説明書を添付すること。ただし、その製品に該当しない注意事項については明示しなくてもよい。 なお、必要に応じて、一般消費者が容易に理解できるよう図で明示すること。 (1) 管理者を定め、設置・移動・使用・点検等の際に注意・指導を行い、安全に行うこと。 (2) 取扱説明書は必ず読み、読んだあと保管すること。 (3) 部品の一部が取り外されているものは、その組立ての要領及び注意 (4) 設置の要領及び注意 (a) 外支柱を固定ソケットに設置する際は、固定ソケット付近で一度立ててから、落下させないようにゆっくり挿入すること。	

	(b) ネットロープの掛け外しの際は、ロープに大きな力がかかっているので、十分注意すること。 特にネットを張る際は支柱上部が内側に入りすぎないように適切な張力で張る旨。 (5) 使用上の注意 (a) 異状が発生したら、ただちに使用を中止すること。 （使用するバレーボールネットも含む） (b) バレーボール以外の目的で使用しないこと。 (6) 移動する際の注意 (a) 重量が大きいので、二人以上で運搬すること (b) 取り扱いは、乱暴にしないこと。 (7) 保管上の注意 (a) 使用後は、支柱の高さを最低にし、決められた場所に保管すること。 (b) 金属材料の場合、素地の露出、さび等が著しいときは、塗装を施すこと。なお、ネット巻き等で直接ネットロープが接する部分に関しては除く。 (8) 安全点検は、表 2 にしたがって行うこと。また、必要に応じて修理又は交換を行うこと。 (9) 製造業者、輸入業者又は販売業者の名称、住所及び電話番号	
--	---	--